



The Lion Times



■地区スローガン「To Our Centennial～100周年に向かって～」

■地区ガバナー・テーマ「Empathy」～恕～

■鹿児島リジョン／アクティビティ(活動)報告

【鹿児島R／3Z 鹿児島谷山LC】

谷山ふるさと祭(10月25日)

地域活性化、ライオンズクラブPRを目的としています。団子、焼きそば、フライドポテを販売致しました。焼きそばの野菜切り、資材搬入等会員一同の協力のもとイベントに一丸となって取り組んでいます。谷山LCのPRもかね、また地域を盛り上げる為、今後も続けていきたいと思っています。(会員31名、ライオンレディ6名)



焼きそば作成



焼きそばのパック詰め

【鹿児島R／5Z 串木野LC】

世界ライオンズ奉仕デー／EM菌活動事業(10月8日)

9月に製作しておいたEM菌活用団子500個を神村学園内の硯川・尻塞川に投入した。

当日は15:00に神村学園初等部に集合して、神村学園高等部の寮生と先生30名にお手伝いを頂き、それぞれ歩きながら河川に投入しました。(会員30名 神村学園寮生・先生30名／合計 60名)



投入前に委員長より説明



学生さんと会員と歩きながら投入しました

【鹿児島R／5Z 川内なでしこLC】

ペットボトルキャップ搬入他(9月26日)

9月26日ペットボトルキャップふたを、ポリオワクチンになるよう搬入しました。少しでも多くの難民の方にワクチンがうてらとの思いで、一般の方にも協力してもらい集めました。

なでしこLCの藤崎会長が市内の平佐小学校に読み聞かせをつづけておられましたが、今季からなでしこLCも子供たちに本の読み聞かせを40分程度させていただくことになりました。子供たちもとても静かに聞いて下さいます。子供たちとの触れ合いもでき、とても楽しい時間です。

9月8日国際委員長公式訪問、歓迎晩餐会に藤崎会長、枇杷幹事が出席致しました。とても素晴らしい式典でした。山田国際会長ともお目にかかれ、とてもいい勉強になりました。



ペットボトルキャップ搬入



平佐西小読み聞かせ



9月8日 国際会長と

【鹿児島R／7Z 始良LC】

錦江湾クリーンアップ作戦 秋の陣参戦(10月24日)

約250名が参加して脇本海岸を清掃しました。自然流木等でなく人工物(プラスチック、瓶・缶、金属等)を収集しました。ゴミ自身は多くはありませんでしたが、中にはお茶碗類の陶器くずや錆びついた物干し台もあり回収し気持ちの良い海岸になりました。(会員11名)



約250名が集まり海岸清掃について説明が行 人工ごみの燃える物は青袋に回収する LIONSの仲間 われました



お宝発見? 陶器くず、鉄くずでした 怪我せんように収集中



どげんな? 収穫は 収穫を比較する LION達



ぼくちゃんも将来はLIONになって 清掃記念集合写真

■ 沖縄リジョン／アクティビティ(活動)報告

【沖縄R／1Z 石川LC】

中古メガネ寄贈(9月10日)

株式会社メガネ一番さんより、メガネ21個・フレーム138個を頂き、再生センターへ寄贈しました。



大量のメガネを受け取るL新垣、L譜久島



譜久島会長より宮里社長へ感謝状贈呈

【沖縄R／3Z 那覇守礼LC】

首里城周辺清掃(9月20日)

毎月第3日曜日に行っている清掃です。今月はボーイスカウト那覇12団の皆さんと一緒に首里城周辺の清掃をしました。



環境保全委員長よりご挨拶



この日は敬老の日、名誉顧問のお話を伺います。

■YCE特集(派遣・受入)

【受入：鹿児島黎明LC／ユイ・ウェイ クオさん：台湾（7月18日～8月18日）】

台湾から夢・希望を抱き7月18日に来鹿でした。鹿児島市市長表敬訪問などなど、ホストファミリー増田家でも楽しい夏季でした。



【派遣：種子島LC／平野 晴奈さん マレーシア（8月2日～8月15日）】

この夏の思い出

8月2日。私のにとって最大の試練が始まろうとしている。ライオンズクラブの夏季YCE派遣を利用してマレーシアに約2週間ホームステイに行くのだ。飛行機にさえ乗ったことのない私が無事行けるのか、という不安と英語が通じるのかという不安が入り交じり引きつった表情で私は種子島を離れた。

今回日本からの派遣生は全15名。私は後半のB出発で5名でマレーシアへ行くことになった。

お互い初対面ではあったがすぐに打ちとけ仲良くなり、福岡発でシンガポール、そしてマレーシアと計7時間のフライトであったがこれから始まる生活も楽しめる気がしていた。

マレーシアの空港ではホストファミリーの2人の女性が出迎えてくれた。名前はシリアとその親友のレイチェル。緊張して思うように英語で話せなかったが2人はじっくり耳を傾けて理解してくれようとした、うれしかった。

翌日からは観光に連れて行ってくれた。ペナンではジョージタウンの街中にある針金アートや壁画アートを見に行き、絵にあわせてポーズをとって記念写真を撮ったりした。海では水上バイクとパラグライダーに初挑戦、インストラクターさんが少し日本語を話せて安心して楽しむことができた。ペナン1豪華な中国寺院も見たりと充実の3日間を過ごした。

それからマレーシアのレオクラブ主催の派遣生のキャンプに参加した、このキャンプは日本人の派遣生だけではなくあらゆる国の派遣生が集まった、もちろんここでも英語のみ。どんなつたない英会話も耳を傾けてくれるこれまでのホストファミリーとは違い、積極的に話さないと距離が離れていくような気がした。基本班活動なのでメンバーで協力しなければならない場面も言葉が通じずあまり関わる事が出来なかった。1日目にして弱気になり、急に日本が恋しくなったが、そんな時も日本から一緒に渡航した四人の友人が支えてくれた。

キャンプ2日目、グループパフォーマンスでレクリエーションの準備、私はフィンランド人の派遣生マックスとペアで日本語と英語の訳をしながらゲームを作り上げ、大変だったが、本番では大成功し会場中を笑顔にすることができた。私たちは充実感いっぱいハイタッチをし、喜びを分かちあった、この3日間のキャンプは特に私を成長させてくれたと思う。

ホストファミリーはいろんな場所へ連れて行ってくれた。イスラム式の寺院では肌を露出してはいけないと学び、動物園やずず製品の加工工場見学、マレーシアでもずず製品は高級品である。ナイトマーケットへはホストファミリーとレイチェル一家、友達になったメリッサと大勢で行った、夜は11時を回っていたが大変にぎやかで路上ライブを見ながらアイスを食べたりと、楽しい時間が過ぎ、帰りたくないと思った。

いよいよ帰国、マレーシアで過ごした2週間は大変さと緊張の連続ではあったがたくさんのいい経験ができ、友達もたくさん出来た、マックスもわざわざ空港まで見送りに来てくれ、レイチェルとメリッサは別れ際日本語で愛していると言ってくれて私は泣いてしまった。

日本人派遣生とは本当にいい友達になり、連絡を取り合っている。

現地で出会った多くの友達、様々な文化を体験させてくれたホストファミリー、そしてこの機会をくれたライオンズクラブに心から感謝し、この経験を生かしていきたいと思う。



【派遣：鹿児島さつまLC／下坂元 里緒さん マレーシア（7月19日～8月18日）】

たくさんの感謝

私はこの夏YCE派遣学生として、マレーシアとシンガポールに7月20日から8月18日までに行ってきました。鹿児島からの派遣は私だけで正直不安でしたがホストファミリーの方々や一緒に行った他の派遣生の皆が優しく接してくれて一気に不安がなくなりました。

マレーシアでは、四家族の皆さんにお世話になりました。マレーシアは多民族国家なのでマレー系・中国系・インド系また、原住民もたくさん住んでいました。

最初はクチン、次にミリ、ケニンガウ、コタキナバル、それからシンガポールで過ごしました。

マレーシアでは、四家族の皆さんにお世話になりました。マレーシアは多民族国家なのでマレー系・中国系・インド系また、原住民もたくさん住んでいました。

最初はクチン、次にミリ、ケニンガウ、コタキナバル、それからシンガポールで過ごしました。

一番最初のクチンでは初めてのホームステイでドキドキしてましたがマザーがとても優しく気さくな人だったのですぐに馴染むことが出来ました。また伝統的な食べ物を食べさせてくれたり、色んな所へ連れていってくれました。特に思い出に残っているのが食べ物では{アイスカッチャン}です。日本のアイスカッチャンは、氷の上にシロップをかけてアイスのをつけたりしますが、私が食べたものはお水と氷、その下に豆や色んなものが入ったものでした。やっぱり日本と海外では食の好みも違うのだなあとここで実感しました。おいしかったです。また、クチンの学校を訪問したり、ショッピングをしたり、楽しい思い出を作ることが出来ました。お別れの日には離れたくなくて泣いてしまいました。

次の場所はミリでした。ここは一人でのホームステイだったので少し不安と緊張もありましたが一日もたたないうちにすっかりふきとびました。ミリではマザーもファザーも仕事が忙しく、なかなか一緒にいることが出来ませんでした。代わりにホストシスターが色々な場所に連れて行ってくれました。公園でアスレチックをしたり、海に連れて行ってくれたり、またみんなで学校を訪問したり、鍾乳洞に連れて行ってもらいました。鍾乳洞は辿り着くまでに時間がかかったけどいい思い出になりました。ミリでは最後にレオクラブの方からフォトアルバムをいただきました。一生の宝物です。

次はケニンガウという場所です。ここは空港から結構遠くコタキナバルから山を二つ越えた約二時間かかる場所にあります。このホストファザーはなんと政治家さんでとても大きな家でした。一人ずつ部屋を用意してくれて、各部屋にトイレとお風呂がついていました。そして普通ならできないことをたくさん体験させてもらいました。またトラディショナルコスチュームをいただきました。大切にしたいと思います。

次はついにマレーシア最後の地コタキナバルです。ここでは都市の離れたシスターとブラザーがいて、思い出を作ることが出来ました。また、みんなでボートに乗って島へ行き海で遊びました。とてもきれいで魚がたくさん泳いでいました。

一番最後はシンガポールです。シンガポールでは他のYEの子と行動する機会が多かったです。植物園に行ったり、セントーサという島に行ってバンジージャンプをしてきたり、色々なことをしました。またU.S.Sにも行って勉強をしつつも楽しみました。わたしは今回のホームステイでたくさんのお話を学び、たくさんの友達ができました。最初は本当に不安で仕方なかったですが行ってみれば最後自分が勇気と自信がついて楽しく充実したものになりました。行ってよかったと思えるものになりました。今回派遣させていただいたライオンズクラブの方や両親にとっても感謝しています。本当にありがとうございました。



ホストファミリーと。



ホストファミリーと寿司パーティ。



ライオンズクラブのお別れ会



派遣先にて



派遣学生の皆と



染物体験



派遣学生の皆と。



福祉施設訪問、折紙教室



派遣学生の皆と



川遊び



花火

【派遣：川内LC/切手 鈴菜さん マレーシア（8月2日～8月15日）】

YCE派遣帰国レポート

私は8月3日～14日までマレーシアに滞在しました。ホストファミリーとは、出発前に何度かメールをしたり、電話もしていたので、少し不安もありましたが、初めてのホームステイがとても楽しみでした。出発前、マレーシアはとても暑い国だと思っていましたが、日本のような蒸し暑さはなく、むしろ空気が乾燥しているの思ったよりも過ごしやすいかったです。また、マレーシアの人はフレンドリーで優しい人ばかりでした。マンガ等の影響で日本が大好きだという人が多く、日本語を勉強している人や日本に興味を持っている人がたくさんいて、日本の文化が世界で愛されていることを実感しとても嬉しかったです。

私のホストファミリーは3人家族の本当に優しく温かい家族でした。ホストファザーは仕事で忙しいながらもいつも私の話を笑顔で聞いてくれたり、ホストマザーは、とても明るい方で、家族の話や日本の事やマレーシアの伝統・文化など色んな話をしました。ホストブラザーはとても優しく、特技のピアノを聞かせてくれたり、一緒に買い物に行ったりなどいつも私を気遣ってくれました。ホストファミリーは私が少しでも多く、マレーシアの文化を体験できるようにと色んな場所に連れて行ってくれたり、色んな種類のマレーシアの料理や食べ物を食べさせてくれたり、さらには私にたくさんのマレーシアの友人が出来るようにと、近所の方や友人を招いてBBQパーティーなども開いてくれました。またホストブラザーの通っている高校や塾にも連れて行ってくれました。そのおかげで、本当にたくさんのマレーシアの友人が出来ました。素敵なホストファミリーに囲まれて、とても充実した日々を過ごしました。

YCEのキャンプでは、同年代の様々な国籍の人が集まり、一緒にレクリエーションや自国の紹介、グループでの出し物など行い交流を深めました。初めは周りの英語の話すスピードについていくのが大変でしたが、言葉の壁を乗り越えて仲良くなれた時は本当にうれしかったです。彼らとは現在でもFacebook等を通じて連絡を取り合っています。幼いころから海外に興味を持っていた私にとって、多くの海外の友人が出来たことは素晴らしい財産となりました。

今回のYCE派遣を通して、マレーシアという国が大好きになりました。また、今まで以上に海外に対する興味が強くなり、もっと英語を勉強したいと改めて感じました。海外でホームステイをしたいという私の夢を叶えて下さったライオンズクラブの皆様には、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。今度は私がYCEのOGとして、日本に来る派遣生に日本の魅力を伝え、海外と日本の懸け橋となれるような活動をしていきたいです。



【派遣：沖縄LC／又吉 楓さん マレーシア（7月16日～8月15日）】

YCE派遣帰国レポート

僕はこの夏休み、交換留学生としてマレーシアに行きました。温暖な気候であり、沖縄にとっても似ていました。

マレーシアは多国籍国家であり、マレーシア人はもちろんのこと、インド人、中国人が多く暮らしています。

今回僕が訪問した2つの家庭は両方とも中国人の方の家庭でした。

今回のホームステイでとても印象的だったのは食事でした。マレーシアは先に述べたように多国籍国家なので、色々な国の料理を食べることができました。カレーを代表とするインド料理、ココナッツを多く使用するマレー料理、僕にとっては一番馴染みのある中国料理、この3カ国の料理を味わうことができました。それぞれ違った食べ方や味。日本ではあまり経験のできないことを体験することができたと思えました。1番美味しかったのはワンタンミーという中国料理でした。焼きそばのようなものに水餃子を混ぜた食べ物で、それはもう美味しくて、わがまま言って2回食べに連れて行ってもらいました。フルーツもとても美味しくおやつのようによく食べていました。異形な形をしたランブータン、グリーンオブフルーツと称されるマンゴスチン、星の形をしたスターフルーツ、他にも初めて見るフルーツも美味しく頂きました。しかし、フルーツの王様と言われるドリアンだけはどうしてもあの強烈な匂いに抵抗があり、手に取って見たものの、口に運ぶことができませんでした。勇気を振り絞り、一切れ口に入れたのですが、鼻をつく匂いと舌触りが僕には合わなかったです。でも日本で食べようと思っても簡単に食べることできるものではないので、経験できてよかったですと思えました。

キャンプではグループ活動などで、ヨーロッパをはじめとする約10カ国の人々と交流することができました。初めは参加者全員が緊張してコミュニケーションが取れずにいました。しかしLEOクラブの皆さんが考えてくれたゲームでいっきに打ち解けることができました。即興で人形劇をしたり、水風船合戦をしたり、ダンスや色々なゲームをして楽しみました。また、ドレスパーティーにも参加しました。僕は真っ赤な漢服という中国の伝統的衣装を着て参加しました。この衣装はホームステイ先の両親に買っていただいたものです。家族に似合っていると褒められ、照れくさかったけどとても嬉しかったです。言語の壁を越え多くの外国人参加者と交流することができました。また、彼らの文化や習慣を学ぶことができたことはとてもいい経験になりました。このキャンプを主催してくれたLEOクラブの皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。

日本とマレーシアとの文化や習慣の違いにも驚きがありました。例えば食事のマナーです。日本では、肉や魚料理を食べる時、骨は皿の隅に置きますが、そこでは皿の上ではなく、机の上に置くのです。また、ショッピングセンターの中のトイレでも日本との違いを感じる事ができました。日本では当たり前のようにトイレット

ペーパーが置いてありますが、マレーシアでは、トイレットペーパーがありませんでした。僕が当たり前だと感じていたことが、他国では当たり前ではないと感じることが多々あったことに衝撃を受けました。僕が住む日本がどれほど素晴らしい環境であるのか、そして自分がどれだけ恵まれている環境にいるのか知ることができました。日本にいては、日本の良さを感じることはなかったと思います。

このホームステイの一ヶ月間でとても有意義な時間を過ごすことができました。英語に対する意識もより一層強くなりましたし、グローバル社会を羽田で実感したことは僕の人生の中でかけがえのないものとなりました。

沖縄ライオンズクラブの皆さん、そしてお世話になったホームステイ先のファミリーに大変感謝しております。本当にありがとうございました。





【受入：沖縄LC／アレサンドロ ジアチャルティさん：イタリア（7月15日～8月11日）】

